

シネマ203

7月の上映

赤枠は日時オーダー上映!

見逃したくない作品を、ご希望の日時に上映します【申込 090-8172-7074】

最新schedule →



7/4(金)更新 『テリ・ギリアムのドン・キホーテ』7/18(金)迄! 『ファンタスティック・プラネット』7/13(日)先行上映@ヌメロ!

Jun	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00
5 土		11:00 - 13:15 (2H08) PART 1 トレンケ・ラウケン	13:00 - 15:45 (2H12) PART 2 トレンケ・ラウケン	15:30 - 17:20 (2H13) テリ・ギリアムのドン・キホーテ	17:35 - 19:10 (1H38) ドッグ・レディ	19:30 - 21:50 (2H13) テリ・ギリアムのドン・キホーテ	20:30 - 22:50 (2H13) テリ・ギリアムのドン・キホーテ						
6 日		11:00 - 13:15 (2H08) PART 1 トレンケ・ラウケン	13:00 - 15:45 (2H12) PART 2 トレンケ・ラウケン	15:30 - 17:20 (2H13) テリ・ギリアムのドン・キホーテ	17:35 - 19:10 (1H38) ドッグ・レディ	19:30 - 21:50 (2H13) テリ・ギリアムのドン・キホーテ	20:30 - 22:50 (2H13) テリ・ギリアムのドン・キホーテ						
7 月		休館日											
8 火			13:00 - 15:20 (2H13) テリ・ギリアムのドン・キホーテ	15:35 - 17:20 (1H38) ドッグ・レディ	17:35 - 19:10 (1H38) 詩人たち...								
9 水		11:00 - 13:20 (2H13) テリ・ギリアムのドン・キホーテ	13:30 - 15:45 (2H08) PART 1 トレンケ・ラウケン	15:35 - 17:20 (1H38) PART 2 トレンケ・ラウケン	17:35 - 19:10 (1H38) ドッグ・レディ	19:30 - 21:50 (2H13) テリ・ギリアムのドン・キホーテ	20:30 - 22:50 (2H13) テリ・ギリアムのドン・キホーテ						
10 木			13:00 - 15:20 (2H13) テリ・ギリアムのドン・キホーテ	15:35 - 17:20 (1H38) 詩人たち...	17:35 - 19:10 (1H38) ドッグ・レディ	19:30 - 21:50 (2H13) テリ・ギリアムのドン・キホーテ	20:30 - 22:50 (2H13) テリ・ギリアムのドン・キホーテ						
11 金		10:30 - 12:45 (2H08) PART 1 トレンケ・ラウケン	13:00 - 15:15 (2H12) PART 2 トレンケ・ラウケン	15:30 - 17:50 (2H13) テリ・ギリアムのドン・キホーテ	18:00 - 19:30 (1H25) オステンデ	19:40 - 21:58 (2H13) テリ・ギリアムのドン・キホーテ							
12 土		11:00 - 13:15 (2H08) PART 1 トレンケ・ラウケン	13:30 - 15:45 (2H12) PART 2 トレンケ・ラウケン	15:30 - 17:35 (1H30) 詩人たち...	18:00 - 19:45 (1H38) ドッグ・レディ	20:00 - 22:20 (2H13) テリ・ギリアムのドン・キホーテ							
13 日		11:00 - 13:15 (2H08) PART 1 トレンケ・ラウケン	13:30 - 15:45 (2H12) PART 2 トレンケ・ラウケン	15:30 - 17:30 (1H25) オステンデ	19:00 - 20:15 (1H15) ファンタスティック・プラネット	20:30 - 22:50 (2H13) テリ・ギリアムのドン・キホーテ							
14 月													
15 火													
16 水													
17 木				14:00 - 16:15 (2H08) PART 1 トレンケ・ラウケン	16:30 - 18:45 (2H12) PART 2 トレンケ・ラウケン								
18 金													
19 土		「ファンタスティック・コレクション」初日	13:00 - 15:15 (2H08) PART 1 トレンケ・ラウケン	15:30 - 17:45 (2H12) PART 2 トレンケ・ラウケン	18:15 - 19:35 (1H20) ファンタスティック・プラネット								
20 日		11:00 - 13:15 (2H08) PART 1 トレンケ・ラウケン	13:30 - 15:45 (2H12) PART 2 トレンケ・ラウケン										

最新スケジュールは、SNS で随時更新しています →



📍 アクセス [北ぶらくり丁会館 2F] 本町公園より徒歩 1 分
北ぶらくり丁と本町公園を南北につなぐ細い通りに
[北ぶらくり丁会館]の鉄看板あり。奥の赤い階段を 2 階へ。

【駅から徒歩/バス】
和歌山市駅より徒歩 10 分/バス 1~2 分(800m)
和歌山駅より徒歩 25 分/バス 5~9 分 (2km)

北ぶらくり丁会館 203 号室

シネマ203

cinema 203 7 月の上映

未知との遭遇.....



ファンタスティック・プラネット
時の支配者
ガンダーラ



トレンケ・ラウケン
ラウラ・シタレラ監督特集
テリ・ギリアムのドン・キホーテ



和歌山市中ノ店北ノ丁 2 2
北ぶらくり丁会館 203 号室
090-8172-7074

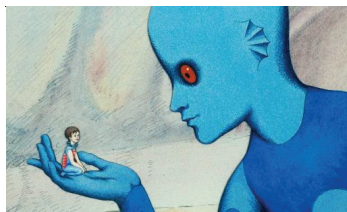
cinema203.com



『ファンタスティック・プラネット』を劇場で！ 日本が世界初の 4K 上映です!!

和歌山にファンが大勢いることに気付いていませんでした。熱烈マニア曰く「魂込めて作られたものは心を揺さぶる」と。ああ、芸術ってそれに尽きますね。“大人向けの長編アニメが皆無に等しかった 1970～80 年代のフランスで、ただ一人、壮大な SF 世界の視覚化に情熱を燃やした”監督ルネ・ラルー。アニメーション制作ができる環境を求めて、チェコ、ハンガリー、北朝鮮に渡り映画を作った鬼才ラルー。時代を超え熱狂的に愛される彼の長編全 3 作品を美しい 4K 映像で味わうファンタスティックな特集上映です。(充実の大型パンフレット必携!)

和歌山市では、アニメーションにもたいへん造詣の深い生き証人こと田並劇場に引っ張ってもらいながら、8 月末まで 3 本を特集上映します。本丸・田並劇場では 9/7(日)+8(月)に代表作『ファンタスティック・プラネット』を特別上映！ どうぞお楽しみに。



ルネ・ラルー ファンタスティック・コレクション 配給：ザジフィルムズ

『ファンタスティック・プラネット』 La Planète sauvage
監督・脚本：ルネ・ラルー 原画・脚色：ローラン・トポール
音楽：アラン・ゴラゲール 原作：ステファン・ウル『Oms en Série』
(1973 年/フランス=チェコスロヴァキア/フランス語/72 分)

『時の支配者』 (1982 年/フランス=ハンガリー/フランス語/78 分)
『ガンダーラ』 (1982 年/フランス=北朝鮮/フランス語/83 分)

『女は男の未来だ——風が吹き抜け、歌が聞こえて…彼女たちは生きる。』

アルゼンチンの片田舎トレンケ・ラウケンで、植物学者ラウラが姿を消した。取り残された 2 人の男たち（恋人と仕事仲間）は彼女を探してさまようけれど、誰に聞いても謎は深まるばかり。6 年かけて完成した『トレンケ・ラウケン』は、2 部に分かれて 260 分の超大作です。面白くてたまらないのに、正体がつかめない！ こんな映画は見たことがありません。

「わかる、わかるでラウラ(笑)」「村上春樹みたい」「ラストはつまり……」3 週間の上映を経て、皆さんの感想に唸るばかりです。さすが。過去作も含め、魅了されすぎて 7 月末まで上映します。猛暑の折、涼しい場所で存分にお楽しみください。



『トレンケ・ラウケン』 Trenque Lauquen
監督：ラウラ・シタレラ 脚本：ラウラ・シタレラ、ラウラ・バレーデス
出演：ラウラ・バレーデス、エセキエル・ビエリ、ラファエル・スプレゲルブル ほか
製作：エル・パンペロ・シネ 配給：トーデス・フィルム、ユーロスペース
(2022 年/アルゼンチン、ドイツ/スペイン語/Part 1 [128 分], Part 2 [132 分])

ラウラ・シタレラ監督特集 [響きあう秘密]

▼上映作品 左から：



『オステンデ』 (2011、85 分)
『ドッグ・レディ』 (2015、98 分)
『詩人たちはファナ・ビニョッシに会いに行く』 (2019、98 分)

ルネ・ラルーのアニメーションを見る前に……テリー・ギリアムのファンタジー！

コッポラ最新作『メガロポリス』いかがでしたか。終盤あのシーン、さすがでしたね(笑)。常に素晴らしいアダム・ドライバーを見るにしても、SF 作品として楽しむにしても、関連上映の良い機会になりました。

でも実は『ファンタスティック・プラネット』に先立ちぜひご覧いただきたい 1 本でもあるのです。監督のテリー・ギリアムのことは、イギリスのコメディ集団、モンティ・パイソンのアニメーター時代からお好きな方も多はず。日本でも 70 年代にテレビで放映されていて、そのシニカルでブラックな風刺はもちろん、時折挟まる<切り絵アニメ>に夢中になっていたちびっ子たちが。そういえばラルーの 3 作品も、同じ時代の日本の昭和テレビアニメを彷彿とさせる懐かしい魅力が満載です……というわけで、急きょ上映を延長します。

テリー・ギリアムからルネ・ラルーへ。ヨーロッパアニメの来た道をご堪能ください。



『テリー・ギリアムのドン・キホーテ』 The Man Who Killed Don Quixote
監督：テリー・ギリアム 製作総指揮：ジェレミー・トーマス ほか
出演：アダム・ドライバー、ジョナサン・プライス ほか
(2018 年/英語/133 分/スペイン・ベルギー・フランス・イギリス・ポルトガル合作) 配給：ショウゲート ●7/18(金)まで上映延長

長い夏になりそうです。ヴァカンスは、少し遅れてやってきて。

あつという間の梅雨が明け、一気に夏が始まりました。203 は、寝ても覚めても『トレンケ・ラウケン』です。過去作 3 本もその延長（あるいは導入？）として見る者を刺激してやまないラウラ・シタレラ監督とその仲間たち「エル・パンペロ・シネ」の新しさ。面白さ。大胆さ。しなやかさ。今の自分に足りていないものが全部ある。学ぶためにも、このまま 7 月末までアルゼンチンの大地を思って上映を続けます。

春らしい、予期せぬ客人が増えてきました。なぜ映画館を始めたのか。いまの時代に映画館とはどういう場所か。訊かれてはじめて自分の考えを口当たりよく絞り出しながら、「ほんとかな」と可笑しくなったり。お世話になっていた『LISM』の連載は、作業、作業

の毎日の中でほんのひととき、映画のある暮らしについて言葉で考えさせてくれる貴重な機会でした。ありがとうございました。迷いがちなので、これからは 203 の皆さんにヒントをお尋ねすると思います。お気付きの点、ぜひお聞かせください。

8 月は、インド映画です。新しい女性監督です。人混みと大雨でうだる大都会ムンバイで、まわりつく汗と運命から逃れられない 3 世代の女性たち。夜の海辺でそっと打ち明ける『私たちが光と想うすべて』とは……光を求めて、新しい光と求めてじっくり見たい。そして秋には、ちょっと遅いヴァカンス映画をお楽しみください。いよいよ、ジャック・ロジェ！

(北ぶらのエビ採りより)



新星パヤル・カバリーヤー
シュヴァンクマイエル
ジャック・ロジェ
and more

本町文化堂 [音楽と無声映画] 次回は 8/31(日)『荒武者キートン』です！ 夏の終わりに最高の映画体験を!!